強い危機感を持って対応

自由民主党議員団

皆様方におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響下の元、かつて経験のないお正月を過ごされた事と思います。

昨年は、区民生活を守るため、国から一人10万円の特別定額給付金を含む約３８０億円の補正予算を議決しました。又、自民党として区独自の新生児特別定額給付金一人５万円や、プレミアム付商品券総事業費７億１５００万円、医療機関支援４１００万円、感染拡大の防止、区内経済支援等を要望し、実現してきました。本年も引き続き必要な施策実現に取り組みます。

一方で、コロナウイルスによる令和３年度予算に与える影響は、60億円以上の収入減と言われています。３年度予算編成に向けた経常経費20％削減という目標は未だ決まらず、強い危機感を感じます。議会は、区に先駆けて身を切る改革を行いましたが、今後は、区の構造改革への取り組みが問われます。

今後とも、私たち自民党は、将来を見据え、区民の皆様の安心で安全な暮らしを最優先に考え、区政に取り組んで参ります。

今こそ求められる「公助の力」

立憲民主党・無所属議員団

新年明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナ感染症により社会は大きな打撃を受け、価値観も大きく変わりました。感染のリスクを抱えながらも、日々の業務にご尽力頂いている医療従事者をはじめ、エッセンシャルワーカーの皆様に心から感謝致します。未だ収束の見通しが立たない中、引き続き医療機関支援、保健所機能強化、公共施設等での感染防止、生活支援、区内経済の活性化に全力で取り組んで参ります。経済活動縮小の影響により区の収入も大きな減少が見込まれ、今後は厳しい行財政運営の舵取りが求められます。内部努力の徹底により区民サービスへの影響を最小限に抑えなければなりません。感染拡大によるしわ寄せが困難を抱えている人たちの生活を直撃している今こそ、「公助の力」が必要です。多様な支援を整え、必要な方に着実に届く仕組みを強化します。新型コロナをきっかけに、「新しい日常」に対応した行政のあり方を構築すると共に、真に住民本位の区政実現を目指して参ります。

区民の健康と生活と未来を守る

公明党議員団

初春のお喜びを申し上げます。

昨年は、全世界が新型コロナウイルスとの闘いの一年となりました。感染をされた方々にお悔みとお見舞いを申し上げますとともに、医療等関係者の方々に、心から感謝を申し上げます。そして、人類が英知を結集し、一刻も早い平穏な日常を取り戻せることを祈念致します。

この一年、すべての区民の健康を守り、生活に苦しむ皆様と疲弊した区内産業を支えることを最優先に、取り組んで参ります。そのためにも、未来に負担を先送りしない行財政改革の断行が必須です。コロナ禍で寸断された経済の影響で、中野区も来年度以降から大幅な税収減が見込まれます。この２年、我々は健全な財政運営のため行財政改革を強く求めてきましたが、区の改革は停滞し、遂に区長が「財政的な非常事態」と発言されるに至ったことは誠に遺憾です。

公明党議員団は政策と改革の推進の先頭に立ち、さらに地域に根差し全力で働く所存です。

本年の皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

コロナ禍から区民生活を守る区政に

日本共産党議員団

新年あけましておめでとうございます。新型コロナ感染症が増える中で新年を迎えました。

今年は、中野区では新たに基本構想と基本計画が改定・策定されます。区が区民参加を貫き、自治体の責任と役割をきちんと据えた構想と計画となるよう力を注ぎます。

区では新型コロナ感染症に係る医療・生活・経済支援対策事業を実施しています。区民への苦難軽減策を評価しつつも、実態に追いついていないのが現状です。いっそうのＰＣＲ検査の拡大や医療機関等への減収補填、営業とくらしを支える様々な事業の拡大と改善及び延長等が必要です。国や東京都に対しても給付金・協力金等の事業継続と財源措置が強く求められます。党議員団は、国会・都議会とも連携・協力して新型コロナ感染拡大防止と区民生活を守るため力を尽くします。

今年は、国政と都政において重要な政治戦が闘われます。市民と野党との共闘を発展させ、政治革新と都民要求の実現に全力をあげます。

より強固な都と区の連携を！

都民ファーストの会中野区議団

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナ禍の中、日々の社会生活の中にも多大な影響があったかと思われます。中野区でも国や都の補助を活用したコロナ対策の補正予算が組まれ、「医療、介護現場の崩壊を防ぐ」「経済を活性化させる」といった様々な事業メニューを打ち出しました。

令和３年度はコロナ不況の影響により、昨年度と比較して約92億円の税収減が見込まれています。数億円規模のコスト削減、事業見直しが迫られている中、サービスの質を落とさず財政改革、構造改革を進めていくことは至難の業であります。我々は区の未利用地や施設の活用、民間事業者と連携した新たなビジネスモデルの構築といった新たな税外収入の確保など、健全な財政運営を維持し、区民サービスの質を落とさないために積極的なチャレンジをする姿勢を区に求めて参ります。そして、中野区と東京都の連携を強化し、都と共働しながら、日々の安心、安全な生活を守るための活動を行って参ります。